

就職活動体験記

理工学部 情報科学科

内定先：株式会社ディーバ

「どうすれば就活の不安を小さくできるか。」

マスコミなどあちらこちらで、世は不況だ、就職は難しいなどと叫ばれています。

当たり前ですが、こんなこと学生個人が考えてもしょうがありません。

危機感を持つという意味で有用かもしれませんが、結局はただ不安を募らせ、焦るだけです。

また周りに見栄を張るためだけに、ブランドイメージだけで企業を選び、そこを最終目標にするのも、結局は後々自分を不安にさせるだけです。

日本航空の例をあげるまでもなく、有名大企業だから安定というのはもう幻想でしかありません。

いかに不安を小さくして就活生活に臨み、企業を選び、入るか。

どうすれば余裕をもってこれを達成することができるのかを、簡単に述べたいと思います。

まずは多くの選択肢を持ち、リスクを分散することです。

就活中で最もキツイのは、不合格通知をもらう時です。

精神的にかなり参るこの瞬間のショックを軽減する方法は、他にも道を用意しておくことです。

第一志望が国内大企業であるならば、3月までに内定をもらえる会社を受ける。

不安定だとかリスクだとかを気にせず、ベンチャー企業も早めに受けてみることです。

また秋採用の情報なども事前に調べておくことができれば、例え6月までに内定をもらえなくても、無意味な焦りも軽減されると思います。

また企業選びですが、自分がやれそうなことを中心に、どうしてもやりたくないことだけは外して業種と職種を選ぶ。

やりたいことで仕事を選ぶのではなく、仕事をやっていく中でやりたいことを見つける。

企業も仕事内容も、結局は働いてみないと分かりません。

「入社してイメージ通りでなかったとしても、働く中で楽しさを見つけていこう。」

そういう心持ちでいれば企業選びにそこまでシビアにはなりません。

志望度が高い企業に落ちても、そうこだわることなく次へ進むことができます。

ただ最低限の客観的な情報はつかんでおくべきです。

実際に働く社会人の話を聞き、書籍を読み、今後衰退していくと考えられる業種は避けるようにしましょう。

そして実際の試験についてです。

適性試験内容は書籍などで傾向を早めに把握し、問題集をザッと解いておきます。

面接では、土壇場で表情に余裕があり、前向きな気持ちがある人が結果的には評価されるように思えます。

何の職業経験もない学生を判別するポイントはやはり「やる気」でしょう。

その上で「その企業が何を求めているか」「自分がやれることでどう貢献できるか」の二点を論理的に考え、それを「自分が努力したエピソード」で支えることができれば準備は十分です。

あとは面接官との相性と運だと割り切って堂々と会話する気持ちで望むことです。

さて偉そうなことを述べてきましたが、

所詮は私も学生ですので、これらは参考程度に留めるべき意見です（笑）

しかし以上のことは私自身、実際に現場で働く社会人の方々からお聞きしてまとめた内容です。

納得できる情報を積み上げて、不安という感情を小さくし取り組んだ結果、内定を得ることができました。

そのため何かしら参考になる点もあるかと思います。

少しでもあなたの心の負担を軽減させることができたならば嬉しいです。

目の前の一つ一つをしっかりとこなし、就活に臨んでいただければと思います。